

『ナイト・ウォッチ: Nochnoi Dozor』に続き…

ロシア映画史上 興行収入歴代No.1記録更新!

—2006年1月1日ロシア公開・Gross Box Office \$31,965,087—



ナイト デイ
“夜”から“昼”へ。闘いはクライマックスへ——!

デイ・ウォッチ

DAYWATCH

フォックス・サーチャイト映画 チャンネル・ワン・ロシア 提供 タバックパセレウスプロダクション ティムール・ベクマンバトフ作品 “DAY WATCH”
コンスタンチン・ハベンスキー=アンソニー・エロアツキー 音楽ユーリ・ボディエンコ 監製ドミトリー・キセル 美術アレクシー・ウクトロフ ムキタル・ミルサキエフ ニコライ・リャブセフ 撮影セルゲイ・トロフィモフ
原案セルゲイ・ルキヤネンコ&ウラジミール・ワシレフ 脚本セルゲイ・ルキヤネンコ ティムール・ベクマンバトフ アレクサンダー・タル 製作総指揮アレクセイ・カプリツキー ヴァリャ・アプテュスコ
製作コンスタンティン・エルスト アナトリー・マキシモフ 監督ティムール・ベクマンバトフ

www.daywatch.jp



FOX

SEARCHLIGHT



2004年ロシアで劇場公開された「ナイト・ウォッチ/Nochnoi Dozor」は、公開されるや「ロード・オブ・ザ・リング/王の帰還」「スパイダーマン2」のロシアでの興行成績を上回り、最終的には1,600万ドルというロシア映画史の記録を塗り替える爆発的ヒットを記録した。また、そのハリウッド作品にも匹敵する驚異の映像と独創的な世界観は、ロシア国内のみならず全世界の映画ファンに衝撃を与えた。

そして、その記録を遥かに上回る3,000万ドルをたたき出し、再びロシア映画No.1記録を更新した驚異のダーク・ファンタジー第2章「デイ・ウォッチ」が、2008年いよいよ日本に上陸する!

再びロシア映画史上No.1記録を更新した 驚異のダーク・ファンタジー第2章がいよいよ日本に上陸!

ついに“光”と“闇”の均衡は破られ、 世界は混沌に陥れられる...

その昔、永らく対立を続けてきた“光”と“闇”の勢力は、お互いの壊滅の危機に瀕し休戦協定を結んだ。特殊な能力を持つ“異種(アザース)”と呼ばれる種族は、それぞれ“光”と“闇”に別れお互いを監視し合う事で何世紀にも渡って均衡を保ってきた。

そして舞台は現代。青年アントンはある事件がきっかけで自身が“異種”である事を知り、“闇”の勢力を監視する“闇”の監視人(ナイト・ウォッチ)のメンバーとして活動していた。協定を侵そうとした“闇”の勢力を追う中で彼はある女性と少年を救う。その2人こそ“光”と“闇”の均衡を崩すといわれる伝説の“異種”だったのだ。

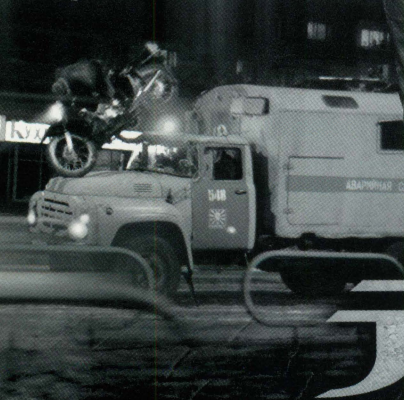
そして2人はそれぞれ“光”と“闇”側に付く事を選択し、この2人の出現により“光”と“闇”の均衡は徐々に崩れはじめることになる...

そんな中アントンは策略により“闇”の異種殺しの嫌疑をかけられ、“闇”の勢力から追われることに。自身のために均衡を崩しつつあると感じた彼は事態解決のため、古来より伝わる運命を変えることが出来るという、伝説の“運命のチョーク”の行方を追うのだが...



前作を凌駕する驚異のVFXと、 深遠でドラマチックなストーリー。

原作はロシア本国で累計300万部を超えるベストセラーを完全映像化。ロシア映画ならではのともいえる独創的な世界観と驚異の映像体験で世界に衝撃を与えた『ナイト・ウォッチ/Nochnoi Dozor』。今作『デイ・ウォッチ』は前作をはるかに超える映像表現に、主人公アントンの人間的な苦悩を織り込んだ深遠なストーリーでさらにドラマチックに進化した物語に。“光”と“闇”の勢力争いの行方は? 強大な力を持つという2人の“異種”のその潜在能力とは? そして物語の鍵を握る“運命のチョーク”とは? 驚きのストーリー展開にあなたは震撼するだろう。



フォックス・サーチライトピクチャーズ、チャンネル・ワン、ロシア提供 タバック/バゼレグス・プロダクション ティムール・ベクマンバトフ作品「Day Watch」
コンスタンチン・ハバネスキー・アントン・コロツキー 音楽ユーリ・ボティエンコ 編集ドミトリー・キセレフ 美術「フレイリー・ヴィクトロフ」ムキタル・ミルザキエフ ニコライ・リャブセフ 撮影セルゲイ・トロフィモフ
原作セルゲイ・ルキヤネンコ&ウラジミール・ワシレフ 脚本セルゲイ・ルキヤネンコ ティムール・ベクマンバトフ アレクサンダー・タラル 製作総指揮アレクセイ・カプリツキー ヴェリア・アブデュスコ
製作コンスタンティン・エルンスト アナトリー・マキシモフ 監督ティムール・ベクマンバトフ 2007年/上映時間2時間11分/シネマスコープ/ドルビーSR-SRD/日本語字幕 木田直子/配給:20世紀フォックス映画 www.daywatch.jp

2.16 (sat) ROADSHOW

フジテレビ前・アクアシティお台場 お台場シネマメディアージュ 03(5531)7878	新宿コマ劇場前シネシティ 新宿オデオン座 03(3202)5657	JR横浜線 鴨居駅下車 徒歩7分 TOHOシネマズらぽーと横浜 045(929)1040	JR・京浜急行川崎駅前ダイス7F TOHOシネマズ川崎 044(230)1122
---	---	--	--

映画盗撮は犯罪!
発見したら
www.eigakan.org
0120-550098
映画館に行こう!実行委員会 違法対策室